

形成外科の対象となる疾患

【 爪に関する疾患 】

疾患：巻き爪、陥入爪、肥厚爪、爪変形

症状：巻き爪になって困っている。

歩く時に痛くて大変。

膿んでしまっている。

爪が大きく変形している。



治療方法：爪の変形の矯正、外科処置。

爪の変形が強い場合はクリップなどを使用して爪を矯正します。

感染が強いときは爪を部分的に切除することもあります。

* 爪は変形を起こすことで、“巻き爪になる” “爪が食い込んで痛い” “爪が分厚くて困る” など様々な問題を起こすことがあります。どの医療機関に受診すればよいか、悩む方もいるかと思いますが、爪については、「形成外科」で対応可能です。

診察日

毎月 第 1・3・5 木曜日

午前 9 時～12 時 30 分

担当医

信州大学医学部附属病院

形成外科 細見 謙登 医師

上記の疾患の他にも「できもの」「きずあと」「床ずれ」「眼瞼下垂症」「带状疱疹」「うおのめ・たこ」「手指の関節痛」なども診察することが出来ます。

気になる症状がありましたら、お気軽に外来看護師、事務員にご相談ください。